

先史・古代の徳島について —弥生時代の「朱」と最新の発見に迫る—

令和8年1/31(土)
13:00~16:00

明治大学 駿河台キャンパス
アカデミーホール（3階）

入場無料（要事前申込）

講師情報



石川 日出志(イシカワヒデシ)
明治大学名誉教授
専門分野:日本考古学・弥生時代



山口 雄治(ヤマグチユウジ)
徳島大学大学院
社会産業理工学研究部 准教授
専門分野:日本考古学・縄文時代



植地 岳彦(ウエヂタケヒコ)
徳島県立鳥居龍藏記念博物館
企画・学芸担当 課長補佐
専門分野:保存科学

徳島県には3,000を超える遺跡が存在し、数多くの遺物が発見されています。中でも、**若杉山辰砂採掘遺跡**（阿南市）は朱の原料である「辰砂」が弥生時代に採掘されていたことがわかる**全国唯一の貴重な遺跡**です。

2023年には出土石器が**国の重要文化財**に指定され、さらには、**国内最古の「火入れ法」の跡**が発見されたと発表されるなど、徳島は今、日本の古代史を書き換える発見の最前線にあります。

今回の連携講座では、この発見の地にフォーカスし、当時の人々の生活や文化を深く紐解きます。

申込は
こちらから



オンデマンド受講の
申込はこちらから
(収録動画のストリーミング配信)

●お問い合わせ先——

明治大学リバティアカデミー事務局
平日10:30~19:00／土曜10:30~15:30（日・祝休業）

TEL : 03-3296-4423

Mail : academy@mics.meiji.ac.jp